

注3 **大学番号：私184**

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

新潟経営大学 観光経営学部 観光経営学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人加茂暁星学園

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムチョウ 事務長・シケン 茂野 マサト 正人

電話番号 0256-53-3000

（夜間） 0256-53-3000

F A X 0256-53-4544

e-mail soumu@duck.niigataum.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

観光経営学部

<観光経営学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. 既設大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	18
7. その他全般的事項	19

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人加茂暁星学園

(2) 大学名

新潟経営大学

(3) 大学の位置

〒959-1321
新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(フジタ トシアキ) 藤田 敏明 (平成24年4月)		
学長	(ワタナベ タモツ) 渡辺 保 (平成26年4月)		
学部長	(ツェリッシュェフ イワン) ツェリッシュェフ イワン (平成28年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
観光経営学部 観光経営学科 学士(観光経営学)	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60人	人	人	人	人	人	人	人	-	人	0.31倍	
	(-)		(-)		(-)		(-)		(-)			
	[-]		[-]		[-]		[-]		[-]			
志願者数	29											
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	28											
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	25											
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	19											
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A	0.31											

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[0] (0) 19	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
2年次	/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3年次	/		/		[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次	/		/		/		[-] (-)	[-] (-)	
計	[0] (0) 19	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	19 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	— 人	— 人		
			平成30年度	— 人	— 人		
			平成31年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
			平成30年度	— 人	— 人		
			平成31年度	— 人	— 人		
平成30年度 入学者	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人		— %
			平成31年度	— 人	— 人		
平成31年度 入学者	— 人	— 人	平成31年度	— 人	— 人		— %
合 計	19 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<観光経営学部 観光経営学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎必修科目	経営学の基礎	1前	2			1						
	簿記会計Ⅰ	1前	2			1						
	簿記会計Ⅱ	1後	2			1						
	ビジネスマナーとホスピタリティ	1前	2					1				兼 1
	観光経営Ⅰ	1後	2					1				
	新潟県の観光	1前	2					1				
	観光英語Ⅰ	1前	1					1				兼 1
	観光英語Ⅱ	1後	1					1				兼 1
	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ	1前	1			1		1				
	コンピュータリテラシー基礎Ⅱ	1後	1			1		1				
	基礎ゼミナールⅠ	1通	2			9	2	3				隔週
	英語Ⅰ	1前	1					1				兼 1
	英語Ⅱ	1後	1					1				兼 1
	英会話Ⅰ	1前	1				1					兼 2
	英会話Ⅱ	1後	1				1					兼 2
	リーディングⅠ	1前	1				1					兼 1
	ライティングⅠ	1後	1				1					兼 1
小計(17科目)	—	—	24	0	0	9	2	3	0	0	兼 5	
専門基本科目	観光経営Ⅱ	2前	2			1						兼 1
	マーケティングの基礎	2前	2									
	財務諸表の見方・作り方	2前	2			1						
	キャリアデザインⅠ	2後	2			3		2				オムニバス
	観光英語Ⅲ	2前	1									兼 2
	観光英語Ⅳ	2後	1									兼 2
	観光政策論	2後	2					1				
	レジャー産業論	2後	2					1				
	基礎ゼミナールⅡ	2通	2			9	2	3				隔週
	コンピュータリテラシー応用Ⅰ	2前	1					1	1			
	コンピュータリテラシー応用Ⅱ	2後	1					1	1			
	オーラルイングリッシュⅠ	2前	1									兼 2
	オーラルイングリッシュⅡ	2後	1									兼 2
	英会話Ⅲ	2前	1				1					兼 2
英会話Ⅳ	2後	1				1					兼 2	
リーディングⅡ	2前	1					1				兼 1	
ライティングⅡ	2後	1					1				兼 1	
小計(17科目)	—	—	24	0	0	9	2	3	0	0	兼 6	
専門応用科目	キャリアデザインⅡ	3後	2			4	1					オムニバス
	観光英語Ⅴ	3前	1			1						兼 1
	観光英語Ⅵ	3後	1			1						兼 1
	観光経営Ⅲ	3前	2			1						
	オーラルイングリッシュⅢ	3前	1									兼 2
	オーラルイングリッシュⅣ	3後	1									兼 2
	英会話Ⅴ	3前	1				1					兼 2
	英会話Ⅵ	3後	1				1					兼 2
	英語特論Ⅰ	4前		2		1						
	英語特論Ⅱ	4後		2		1						
	中国語特論	4前		2								兼 1
	韓国語特論	4前		2								兼 1
	ロシア語特論	4前		2								兼 1
小計(13科目)	—	—	10	10	0	5	2	0	0	0	兼 7	

専門選択科目	財務会計Ⅰ	2前		2							兼	1
	財務会計Ⅱ	2後		2							兼	1
	ビジネス法Ⅰ	2前		2							兼	1
	ビジネス法Ⅱ	2後		2							兼	1
	海外英語実習	2通		2			1				兼	集中
	販売と経営Ⅰ	2前		2							兼	1
	販売と経営Ⅱ	2後		2							兼	1
	原価計算論Ⅰ	2前		2							兼	1
	原価計算論Ⅱ	2後		2							兼	1
	経営トップセミナー	2後		2		3						
	マーケティングⅠ	3前		2							兼	1
	マーケティングⅡ	3後		2							兼	1
	経営戦略論Ⅰ	3前		2							兼	1
	経営戦略論Ⅱ	3後		2							兼	1
	財務管理論Ⅰ	3前		2							兼	1
	財務管理論Ⅱ	3後		2							兼	1
	国際経済論	3前		2		1						
	日本経済論	3後		2							兼	1
	経営分析論Ⅰ	3前		2							兼	1
	経営分析論Ⅱ	3後		2							兼	1
	アジアビジネス論Ⅰ	3前		2		1						
	アジアビジネス論Ⅱ	3後		2		1						
	販売と経営Ⅲ	3前		2							兼	1
	販売と経営Ⅳ	3後		2							兼	1
	インターンシップ	3前・後		2								集中
小計(25科目)	—	0	50	0	6	0	2	0	0	兼	8	
コース専門基本科目	レジャー・まちづくコース	地域とビジネスⅠ	2前		2		1					
		地域とビジネスⅡ	2後		2		1					
		まちづくり論	2前		2		1					集中
		まちづくり実習Ⅰ	2前		2		1					集中
		レジャー&アウトドア実習Ⅰ	2前・後		2						兼	3
	小計(5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0	兼	3
	アグリフードビジネスコース	農業と観光	2前		2		1					
		フードビジネス論	2前		2			1				
		アグリフード実習Ⅰ	2前		2		1	1				集中
		農業ビジネス論Ⅰ	2前		2		1					
農業ビジネス論Ⅱ		2後		2		1						
小計(5科目)	—	0	10	0	1	1	0	0	0	兼	0	
英語・ツーリズムコース	異文化コミュニケーション	2後		2							兼	1
	通訳ガイド入門	2前		2			1					
	通訳ガイド演習Ⅰ	2後		2			1					
	旅行ビジネス論	2前		2		1						
	旅行業法	2前		2		1						
	観光産業実習Ⅰ	2前		2		1					集中	
	旅行実務演習	2前		2		1						
小計(7科目)	—	0	14	0	1	0	1	0	0	兼	1	
ホテル・ホスピタリティコース	宿泊産業論	2前		2		1						
	ホテル経営論	2後		2		1						
	旅行ビジネス論	2前		2		1						
	セレモニー産業論	2前		2		1						
	宿泊関連産業実習Ⅰ	2前		2		1					集中	
小計(5科目)	—	0	10	0	2	0	0	0	0	兼	0	
レジャー・ま	専門ゼミナールⅠ	3通	4			1		1				
	専門ゼミナールⅡ	4通	4			1		1				
	環境と自然エネルギー	3前		2			1					
	テーマパークとリゾート	3後		2				1				
	地域とイベント	3前		2		1						
	スキー産業論	3後		2							兼	1

(3) 未開講科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	11,509㎡	— ㎡	— ㎡	11,509㎡				
	運動場用地	19,121㎡	— ㎡	— ㎡	19,121㎡				
	小 計	30,630㎡	— ㎡	— ㎡	30,630㎡				
	そ の 他	33,235㎡	— ㎡	— ㎡	33,235㎡				
	合 計	63,865㎡	— ㎡	— ㎡	63,865㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	新潟中央短期大学と共用			
		6,615㎡ (6,615㎡)	2,243㎡ (2,243㎡)	4,487㎡ (4,487㎡)	13,345㎡ (13,345㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		11室	7室	一室	3室 (補助職員 一人)	1室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		観光経営学部 観光計学科			14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書購入について、予算内で購入したため冊数減が生じた。視聴覚資料はセットものを各々登録したため増となった。	
	観光経営学部	1,800 [300] (312 [61]) (←360 [←60])	25 [5] (25 [5])	— [—] (— [—])	50 (24) (←10)	— (—)	— (—)		
	計	1,800 [300] (312 [61]) (←360 [←60])	25 [5] (25 [5])	— [—] (— [—])	50 (24) (←10)	— (—)	— (—)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		776㎡	116席		131,000冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		1,927㎡	サッカーグラウンド1面 テニスコート2面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費については概ね計画通り 設備購入費については見積金額より安価に購入できたことにより減額となった。
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	1,796千円 1,800千円	1,800千円	1,800千円	
		共同研究費等	250千円	500千円	設備購入費	13,097千円 26,790千円	800千円	3,200千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,240千円	1,040千円	1,040千円	1,040千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入、手数料収入、雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	新潟経営大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
経営情報学部									
経営情報学科	4	120	3年次15	510	学士 (経営情報学)	0.81	平成6年度	新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2	
スポーツマネジメント学科	4	50	3年次5	210	学士 (スポーツ経営学)	0.94	平成17年度	同上	
観光経営学部									
観光経営学科	4	60	—	240	学士 (観光経営学)	0.31	平成28年度	新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2	
大学の名称	新潟中央短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
幼児教育科	2	100	—	200	短期大学士(幼児教育学)	0.94	昭和56年度	新潟県加茂市希望ヶ丘2909番地2	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜観光経営学部 観光経営学科＞

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
専	教授	ツェリツェフ イワン (59)	平成28年4月					
専	教授	藪下 保弘 (53)	平成28年4月					
専	教授	近藤 政幸 (65)	平成29年4月					
専	教授	出口 高靖 (61)	平成29年4月					
専	教授	小畑 博正 (53)	平成29年4月					
専	教授	里村 孝一 (66)	平成29年4月					
専	教授	野澤 義明 (61)	平成30年4月					

専	教授	大宮 誠 (68)	平成30年4月	世界遺産論 農業政策論 農業経営論 商品の開発Ⅰ 商品の開発Ⅱ キャリアデザインⅡ※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ インターンシップ 経営トップセミナー						
専	教授	高橋 修一郎 (50)	平成30年4月	観光調査法 ホスピタリティ産業の人材管理 観光経営Ⅲ 民宿・旅館経営論 キャリアデザインⅠ※ キャリアデザインⅡ※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ インターンシップ						
専	准教授	サウスウィック ブライアン レイモンド (46)	平成28年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ リーディングⅠ ライティングⅠ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ 英会話Ⅴ 英会話Ⅵ パブリックスピーキングⅠ パブリックスピーキングⅡ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ						
専	准教授	滝沢 憲一 (46)	平成29年4月	コンピュータリテラシー応用Ⅰ コンピュータリテラシー応用Ⅱ フードビジネス論 アグリ・フード実習Ⅰ アグリ・フード実習Ⅱ アグリ・フード実習Ⅲ 環境と自然エネルギー 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ キャリアデザインⅡ※						
専	講師	井上 信恵 (34)	平成28年4月	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 海外英語実習 リーディングⅡ ライティングⅡ 通訳ガイド入門 通訳ガイド演習Ⅰ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ キャリアデザインⅠ※						
専	講師	バロリ ブレ ンディ (40)	平成28年4月	新潟県の観光 観光経営Ⅰ 観光政策論 レジャー産業論 グリーンツーリズム特論 テーマパークとリゾート インターンシップ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 専門ゼミナールⅠ 専門ゼミナールⅡ キャリアデザインⅠ※						
専	講師	落合 純 (33)	平成28年4月	コンピュータリテラシー基礎Ⅰ コンピュータリテラシー基礎Ⅱ コンピュータリテラシー応用Ⅰ コンピュータリテラシー応用Ⅱ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ						
兼任	教授	渡辺 保 (70)	平成30年4月	スキー産業論						
兼任	教授	杉浦 善次郎 (57)	平成28年4月	スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ						
兼任	教授	市島 清貴 (56)	平成29年4月	海外英語実習 異文化コミュニケーション						
兼任	教授	伊部 泰弘 (46)	平成29年4月	販売と経営Ⅰ 販売と経営Ⅱ マーケティングⅡ 経営戦略論Ⅰ 経営戦略論Ⅱ 販売と経営Ⅲ 販売と経営Ⅳ						
兼任	教授	落合 福司 (65)	平成28年4月	法学						
兼任	教授	片上 洋 (66)	平成29年4月	マーケティングの基礎 マーケティングⅠ 秘書概論						

兼任	教授	杉山 学 (47)	平成28年4月	スポーツ&レジャー						
兼任	教授	中島 純 (53)	平成28年4月	現代社会と福祉						
兼任	教授	吉田 一郎 (54)	平成28年4月	経済学 日本経済論						
兼任	教授	和田 造 (70)	平成30年4月	財務管理論Ⅰ 財務管理論Ⅱ 経営分析論Ⅰ 経営分析論Ⅱ						
兼任	准教授	大澤 弘幸 (45)	平成29年4月	財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ						
兼任	准教授	齋藤 良宏 (39)	平成28年4月	スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ						
兼任	准教授	田中 淳 (43)	平成28年4月	スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	兼任	講師	安田 翼 (37)	平成28年4月	スポーツ&レジャー アウトドアスポーツ レジャー&アウトドア実習Ⅰ レジャー&アウトドア実習Ⅱ	平成28年3月 他大学異動により退職 平成28年度より担当者の変更(28)
兼任	准教授	西澤 一光 (57)	平成28年4月	教養の文章理解Ⅰ 教養の文章理解Ⅱ						
兼任	准教授	横山 泰 (36)	平成28年4月	教養の自然科学 現代社会と情報						
兼任	助教	林 孝宗 (33)	平成28年4月	日本国憲法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ	兼任	准教授	藤田 正樹 (37)	平成28年4月	日本国憲法 ビジネス法Ⅰ ビジネス法Ⅱ	平成28年3月 他大学異動により退職 平成28年度より担当者の変更(28)
兼任	講師	梅田 純子 (57)	平成28年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語会話Ⅰ 中国語会話Ⅱ 中国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※						
兼任	講師	石田 レイ子 (69)	平成28年4月	外国史						
兼任	講師	ヴァンカンベン・ティモシー (46)	平成29年4月	英会話Ⅲ 英会話Ⅳ リーディングⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ						
兼任	講師	木伏 あずさ (57)	平成28年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ						
兼任	講師	金 紅花 (36)	平成29年4月	原価計算論Ⅰ 原価計算論Ⅱ						
兼任	講師	小林 美奈子 (54)	平成28年4月	観光英語Ⅰ 観光英語Ⅱ 観光英語Ⅲ 観光英語Ⅳ 観光英語Ⅴ 観光英語Ⅵ リーディングⅠ ライティングⅠ						
兼任	講師	佐々木 宏之 (42)	平成28年4月	心理学						
兼任	講師	澤口 晋一 (57)	平成28年4月	地理学						
兼任	講師	菅原 恵子 (69)	平成30年4月	秘書実務						
兼任	講師	寺崎 敬道 (57)	平成28年4月	宗教学						
兼任	講師	トゥミー・グレゴリー (49)	平成28年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅴ 英会話Ⅵ オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ						
兼任	講師	マズロフ・イゴリー (68)	平成31年4月	ロシア語特論						
兼任	講師	ティモシー・フィニー (51)	平成28年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ 英会話Ⅲ 英会話Ⅳ 英会話Ⅴ 英会話Ⅵ オーラルイングリッシュⅠ オーラルイングリッシュⅡ オーラルイングリッシュⅢ オーラルイングリッシュⅣ ライティングⅡ ビジネスイングリッシュⅠ ビジネスイングリッシュⅡ						
兼任	講師	菊野 麻子 (46)	平成28年4月	ビジネスマナーとホスピタリティ						

兼任	講師	坂井 加奈子 (42)	平成30年4月	航空ビジネス論 交通サービス論						
兼任	講師	秋山 美和子 (47)	平成30年4月	着物文化と演習						
兼任	講師	間瀬 博文 (40)	平成30年4月	ブライダル論 ブライダル演習						
兼任	講師	朱 貞淑 (39)	平成28年4月	韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ 韓国語会話Ⅰ 韓国語会話Ⅱ 韓国語特論 アジア言語入門(中・露・韓)※						

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	2	3	0	14	2	1	3	0	6	9	2	3	0	14
(2)	(1)	(3)	(0)	(6)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70歳	0名	0名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 【該当なし】

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1									
2									
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計 【該当なし】

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年6月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (年 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（**実地調査や面接調査を実施した日ではありません。**）

7 その他全般的事項

<観光経営学部 観光経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会で教育に係る全学的な視野でのファカルティ・ディベロップメントの運営及び推進を図っている。 添付資料 新潟経営大学教務委員会規程 ・観光経営学部レベルでは「授業における向上」研究会を毎週開催している。学部の専任教員は全員参加している。 ・毎月開催される観光経営学部会議では授業の高度化及び学生指導の充実について審議して、決定した改善策のフォローアップを行っている。 <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) (平成27年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の開催の他、臨時的な案件で開催。教員5名、職員2名で組織されている。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する全般的事項 ・授業評価アンケートの実施 ・FD研修会の実施計画 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート ・教員講習会の開催 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業評価アンケート ・FD研修会(教員向け講習会) <p>平成27年10月20日(火)と11月17日(火)に「指導に課題のある学生の理解と対応について」を主題とする講習会を行った。①様々な課題を抱える学生の理解を深め、指導力向上に役立てる。②学生相談室カウンセラーの活用方法を知り、学生対応に役立てる。以上2点を目的として実施した。出席状況は10月20日は全教員33名中28名、職員3名、11月17日は教員27名、職員8名であった。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>学生指導を含めた授業改善への足がかりとなるFD研修会であり、今後も継続して実施していく。</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>全科目(一部対象外科目あり)を対象として年2回(前期及び後期)実施。 平成27年度は前期6月22日(月)～26日(金)、後期12月7日(月)～11日(金)に実施。</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <p>アンケート集計結果について、科目別に集計を行い、結果を科目担当教員に配布している。すべての集計結果を取りまとめ、報告書し、教務委員会で報告を行った。なお、報告書については学生には公開しないが、教員に対しては希望があれば閲覧可能としている。</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
観光経営学部観光経営学科の設立の目的は、観光立県としての新潟県を、まずは観光を通じて広く地域産業の発展と地域の活性化としている。このため地域の観光資源をコーディネートできる人材が求められていたが県内には観光系の学部・学科を持つ大学が存在しない。かかる現状から本学の強みである経営学を通して観光を教授研究し、観光産業及び地域産業・社会に貢献できる人材育成を目的とし、この学部を設置した。
初年度の現段階では大学導入科目、教養科目や観光経営学科の入門科目及び基礎科目を中心に展開されている。同時に2年次以降のコース専門科目群への効果的な接合がはかれるよう展開されている。
(1) 入学後の5月において地域観光資源に関心と問題意識をもってもらうために全員出席のバスツアーを1日実施した。文化・歴史、商業、地域社会、ものづくりの観点からの4ヶ所視察調査を実施した。事前・事後の調査研究そして発表も行っている。
(2) 大学の所在する加茂商工会議所主催のイベント「加茂古道ハイキング」のボランティアに積極的に参加するなど地域協力と実践的な学習の場を設けている。
(3) 語学教育(英語)にも力点を置いているため、それぞれのこれまでの習熟度に応じクラス分けを行い、力の不足している学生には補習を実施しており、反対に高い能力のある者に対しても課外レッスンをし、一層の能力の伸長を図っている。
(4) 入学後2ヶ月以内に「PC検定」に全員合格するなど資格検定にも意欲的に取り組んでいる。
(5) 学部独自の「観光経営学部通信」を定期的に発行し、県内高校に発送している。また「高校生のための現代観光講座」の出前講義を実施し、観光に対するの見聞と興味・関心をもってもらえるよう活動を展開している。
本学の観光経営学部は県内初もあって、その動向が注目されており、学部目的が達成されるための取り組みが着実に実行されている。

② 自己点検・評価報告書
平成29年度に観光経営学部の設置計画の検証を行い、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの期間において、自己点検・評価を実施する予定である。

a 公表(予定)時期
・平成29年5月1日 公表

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、全教職員へ配布するほか、大学ホームページ上にて公開を行う。

③ 認証評価を受ける計画
・平成32年度に評価機関(公益財団法人日本高等教育評価機構)の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成28年9月1日)